



2021年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年9月29日

上場会社名 パレモ・ホールディングス株式会社 上場取引所 東名
 コード番号 2778 URL <http://www.palemo.co.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)吉田 馨
 問合せ先責任者 (役職名)専務取締役管理担当 (氏名)永井 隆司 (TEL)052-581-6800
 四半期報告書提出予定日 2020年10月2日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有(機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年2月期第2四半期の連結業績(2020年2月21日~2020年8月20日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年2月期第2四半期	8,371	△33.1	△771	-	△766	-	△953	-
2020年2月期第2四半期	12,506	5.9	634	10.0	625	6.1	532	1.0

(注) 包括利益 2021年2月期第2四半期 △953百万円 (-%) 2020年2月期第2四半期 532百万円 (1.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年2月期第2四半期	△79.18	-
2020年2月期第2四半期	44.20	43.97

(注) 当第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年2月期第2四半期	11,500	2,753	23.7
2020年2月期	11,677	3,775	32.1

(参考) 自己資本 2021年2月期第2四半期 2,723百万円 2020年2月期 3,749百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年2月期	-	6.00	-	6.00	12.00
2021年2月期	-	0.00	-	-	-
2021年2月期(予想)	-	-	-	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2021年2月期の連結業績予想(2020年2月21日~2021年2月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
通期	19,000	△21.1	△950	-	△960	-	△1,160	-	△96.34	△96.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 ___社(社名)、除外 ___社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年2月期2Q	12,051,384株	2020年2月期	12,051,384株
2021年2月期2Q	10,541株	2020年2月期	10,322株
2021年2月期2Q	12,040,942株	2020年2月期2Q	12,041,412株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではなく、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(追加情報)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界規模での拡大に伴い、経済活動が大幅に制限される状況が続き、戦後最悪とも言われる景気の落ち込みを記録しました。また、今後の見通しにつきましても、経済活動のレベルが段階的に引き上げられる動きも見られますが、引き続き感染症の再拡大が懸念されており、依然として不透明感が強い状況が続いております。

当社グループが属する専門店業界におきましては、新型コロナウイルス感染症拡大による外出自粛を背景に、ファッション関連の需要が大きく落ち込むほか、家で過ごす時間を充実させるべく“巣ごもり消費”と呼ばれる需要が急拡大するなど、リアル店舗からネット通販へと消費がシフトしました。

このような環境の中、当社グループにおきましては、これまで当期を最終年度とした中期経営計画に則り、基幹事業の競争力強化を柱に新規出店も積極的に進めてまいりましたが、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、グループあげてコスト削減や公的な支援の活用などに注力しつつ、アパレル事業においては需給バランスの崩れを修正すべく在庫コントロールの適正化を進め、雑貨事業においては衛生関連商品、家中需要商品の販売に注力するほか、これまで同様に300円均一ショップの「イルーシー300」の出店を続けてまいりました。

当第2四半期連結累計期間におきましては、当期のスタートから外出自粛に伴う客数減の影響が徐々に拡大し、緊急事態宣言発出後は、期間中最も売上高構成比の高いゴールデンウィークに全店の約6割が休業を余儀なくされたことから、5月期の既存店売上高前年比は25.2%にまで落ち込む結果となりました。その後一旦は新規感染者の縮小から6月後半から7月前半にかけては客数の戻りが見られましたが、7月後半からは感染者が再び急増し、特に関東都心の店舗を中心に客数が大幅に減少する結果となりました。特にアパレル事業におきましては、春先のセレモニー関連商品のほか、夏シーズンの水着、浴衣の需要が極端に落ち込むなど、大きな影響を受けました。一方雑貨事業におきましては、店舗数を増やした「イルーシー300」やバラエティ雑貨の店舗において、衛生関連商品や家中需要商品の販売が下支えするも、アパレル事業全体が厳しい環境で推移したことから、期間通しての全社の既存店売上高前年比は64.0%と前年を大きく下回る結果となりました。店舗の出退店におきましては、新規に12店舗を出店し、24店舗を退店した結果、当第2四半期末の店舗数は、475店舗となりました。また、F C（フランチャイズ）事業につきましては増減がなく、期末店舗数は9店舗となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は83億71百万円（前年同期比33.1%減）、営業損失7億71百万円（前年同期は営業利益6億34百万円）、経常損失は7億66百万円（前年同期は経常利益6億25百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は9億53百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益5億32百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は115億円となり、前連結会計年度末に比べ1億77百万円減少しました。これは主に、季節的要因による預け金が3億36百万円増加したものの、現金及び預金3億円の減少、及び退店に伴う差入保証金2億38百万円の減少によるものです。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債は87億46百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億44百万円増加しました。これは主に、電子記録債務が5億77百万円減少したものの、短期借入金17億円の増加によるものです。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は27億53百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億21百万円減少しました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上等に伴う利益剰余金10億25百万円の減少によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年2月期の連結業績予想につきましては、これまで新型コロナウイルス感染症による影響を合理的に算定することが困難であったことから未定としておりました。今もなお、新型コロナウイルス感染症の収束時期につきましては不透明な状況が続いておりますが、現状では『ウィズ・コロナ』の時代において効果的な感染防止策を講じつつ社会経済活動を段階的に回復させていく動きが見られることから、第2四半期連結会計期間の実績を踏まえ、今後におきましては以前のように経済活動が大幅に制限されるような事態が発生しないことを前提に連結業績予想を算定しております。また、詳細につきましては、本日(2020年9月29日)公表しております「連結業績予想及び配当予想の修正並びに、特別利益の計上に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年2月20日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年8月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,294,017	1,993,380
売掛金	107,124	113,366
預け金	853,176	1,189,821
商品	1,949,124	2,029,361
貯蔵品	27,746	25,843
1年内回収予定の差入保証金	245,037	457,432
その他	49,578	66,126
流動資産合計	5,525,805	5,875,331
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,310,840	1,308,775
工具、器具及び備品（純額）	173,737	171,092
建設仮勘定	2,264	2,669
有形固定資産合計	1,486,842	1,482,537
無形固定資産		
ソフトウェア	145,666	132,234
その他	541	541
無形固定資産合計	146,208	132,776
投資その他の資産		
投資有価証券	312,766	312,766
長期前払費用	104,919	96,612
差入保証金	4,051,848	3,600,604
繰延税金資産	129,444	79,175
その他	18,317	14,480
貸倒引当金	△98,594	△93,764
投資その他の資産合計	4,518,701	4,009,875
固定資産合計	6,151,753	5,625,189
資産合計	11,677,558	11,500,520

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年2月20日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年8月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,059,170	1,144,662
電子記録債務	2,354,889	1,777,869
短期借入金	-	1,700,000
1年内返済予定の長期借入金	325,000	625,000
未払金	224,893	107,217
未払費用	789,407	758,845
未払法人税等	9,458	11,560
未払消費税等	111,377	-
預り金	86,626	106,755
賞与引当金	65,210	34,280
役員賞与引当金	-	5,857
設備関係支払手形	66,989	34,980
資産除去債務	24,653	65,030
流動負債合計	5,117,677	6,372,059
固定負債		
長期借入金	1,950,000	1,587,500
資産除去債務	812,981	770,577
長期末払金	21,613	16,653
固定負債合計	2,784,595	2,374,731
負債合計	7,902,272	8,746,790
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	1,979,367	1,979,367
利益剰余金	1,673,089	647,421
自己株式	△3,197	△3,244
株主資本合計	3,749,258	2,723,543
新株予約権	26,026	30,186
純資産合計	3,775,285	2,753,730
負債純資産合計	11,677,558	11,500,520

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年2月21日 至 2019年8月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年2月21日 至 2020年8月20日)
売上高	12,506,720	8,371,875
売上原価	5,529,042	4,001,300
売上総利益	6,977,677	4,370,574
販売費及び一般管理費	6,343,262	5,141,689
営業利益又は営業損失(△)	634,415	△771,114
営業外収益		
受取利息	175	157
債務勘定整理益	3,321	7,125
為替差益	1,457	2,458
貸倒引当金戻入額	4,822	4,830
その他	2,682	964
営業外収益合計	12,459	15,536
営業外費用		
支払利息	4,928	8,238
支払手数料	-	2,235
株式公開費用	16,500	-
その他	259	143
営業外費用合計	21,687	10,618
経常利益又は経常損失(△)	625,186	△766,197
特別利益		
雇用調整助成金	-	150,954
営業補償金	-	18,000
移転補償金	1,937	-
特別利益合計	1,937	168,954
特別損失		
休業手当	-	158,268
固定資産処分損	4,118	2,398
減損損失	29,623	112,028
賃貸借契約解約損	702	21,654
特別損失合計	34,444	294,349
税金等調整前四半期純利益 又は税金等調整前四半期純損失(△)	592,680	△891,591
法人税、住民税及び事業税	51,578	11,560
法人税等調整額	8,835	50,269
法人税等合計	60,413	61,829
四半期純利益又は四半期純損失(△)	532,266	△953,421
親会社株主に帰属する四半期純利益 又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	532,266	△953,421

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年2月21日 至 2019年8月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年2月21日 至 2020年8月20日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	532,266	△953,421
四半期包括利益	532,266	△953,421
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	532,266	△953,421
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年2月21日 至 2019年8月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年2月21日 至 2020年8月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	592,680	△891,591
減価償却費	99,056	130,891
減損損失	29,623	112,028
長期前払費用償却額	12,781	16,125
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△4,822	△4,830
賞与引当金の増減額(△は減少)	34,175	△30,930
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	5,857	5,857
受取利息及び受取配当金	△175	△157
支払利息	4,928	8,238
支払手数料	-	2,235
株式公開費用	16,500	-
雇用調整助成金	-	△150,954
休業手当	-	158,268
固定資産処分損益(△は益)	3,174	1,311
売上債権の増減額(△は増加)	△639,312	△342,887
たな卸資産の増減額(△は増加)	△93,976	△78,333
仕入債務の増減額(△は減少)	72,770	△514,008
その他	70,866	△221,062
小計	204,126	△1,799,796
利息及び配当金の受取額	175	157
利息の支払額	△5,043	△8,495
雇用調整助成金の受取額	-	150,954
休業手当の支払額	-	△158,268
法人税等の支払額	△43,683	△10,276
法人税等の還付額	3,273	5,553
営業活動によるキャッシュ・フロー	158,847	△1,820,171
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△203,292	△198,444
無形固定資産の取得による支出	△946	△4,218
従業員に対する貸付けによる支出	△29	△28
従業員に対する貸付金の回収による収入	677	737
長期前払費用の取得による支出	△23,893	△15,276
差入保証金の差入による支出	△125,206	△77,120
差入保証金の回収による収入	144,776	289,810
その他	△28,219	△39,376
投資活動によるキャッシュ・フロー	△236,132	△43,916

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年2月21日 至 2019年8月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年2月21日 至 2020年8月20日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	-	1,700,000
長期借入金の返済による支出	△79,100	△62,500
配当金の支払額	△71,743	△71,765
支払手数料の支払額	-	△2,235
株式公開費用による支出	△16,500	-
自己株式の取得による支出	△49	△46
財務活動によるキャッシュ・フロー	△167,392	1,563,451
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△244,677	△300,637
現金及び現金同等物の期首残高	2,473,819	2,244,017
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	77,163	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,306,305	1,943,380

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(会計上の見積り)

新型コロナウイルス感染症の拡大に関して、緊急事態宣言が解除された以降、順次店舗が営業再開となり徐々に客数の戻りが見られ、緩やかな回復傾向にあります。

しかしながら、依然として不透明な状況にあり、本感染症拡大の収束時期や影響の程度について、正確に予測することは困難であると考えます。

このため、繰延税金資産の回収可能性の判断等の会計上の見積りを行うにあたって、当初より収束時期が長引いているものの、2020年9月以降は緩やかに回復をするものと仮定した上で、当該見積りに影響を及ぼすと考えられる入手可能な情報を総合的に勘案し、会計上の見積りを行っております。

(臨時休業等による利益又は損失)

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言の対象が全都道府県となったことを受け、当社グループが入居する商業施設において営業時間の短縮や臨時休業が実施されました。

このため、4月期以降の臨時休業等で発生した休業手当1億58百万円を特別損失に計上しております。また、その休業手当に対応した、雇用調整助成金1億50百万円を特別利益に計上しております。